

第4期 事業報告

自 2021年4月1日
至 2022年3月31日

一般財団法人 東方文化支援財団
代表理事 中野善壽

2022年6月20日作成

事業報告（2021年4月1日から2022年3月31日まで）

1. 現況に関する事項

（1）事業の経過及びその成果

第4期は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大、ロシアのウクライナ侵攻など環境変化や状況に対応した1年でした。よって、当財団の主な6方面事業の中で、下記4事業を行いました。

- ・普段スポットが当たる事が少ない、文化の下支えをしてくださっている方々への感謝を表す為のアワード運営
- ・地域再生を意識した活動
- ・アートの保存保管機能充実の為の活動
- ・若手アーティストの作品買い上げ、価値創造の為の活動

前期までに蒔いた種が少しずつ根を広げ、成長し始めた期でした。東方文化圏全域で葉を広げ、素晴らしい実のなる「文化の木」となり、文化を通じて共栄と平和の輪が広がっていくことを願って、活動を続けていきます。

（2）役員に関する事項

評議員、理事及び監事の状況（2022年3月31日）

役職名	氏名	他の法人等との兼務状況
評議員	隈 研吾	建築家
評議員	大西 洋	羽田未来総合研究所 代表取締役社長執行役員
評議員	王 玉園	春夏有限公司 總經理
代表理事	中野 善壽	ACAO SPA & RESORT 代表取締役会長兼 CEO
理事	榊田 隆之	京都信用金庫 理事長
理事	來住 尚彦	アート東京 代表理事
理事	Tony Liu	M&C SAATCHI aeiou CHAIRMAN
理事	二之湯 武史	桜美林大学 客員教授、元参議院議員
理事	青柳 正規	多摩美術大学 理事長
理事	秋元 雄史	練馬区立美術館 館長
監事	平野 和俊	税理士法人 UAP

2. 事業について

①「PROJECT ATAMI」のサポート

—地域再生を意識した活動—

—若手アーティストの作品買い上げ、価値創造の為の活動—

2021年3月29日に ACAO SPA& RESORT と共にローンチした「PROJECT ATAMI」が本格的に動き始めました。4月には静岡放送（SBS テレビ）、静岡新聞、5月には熱海経済新聞に紹介いただきました。また Youtube に「熱海の街がアートで変わる!!『PROJECT ATAMI』密着ドキュメンタリー」を4本アップし、合計約1万回再生されております。

#1 <https://www.youtube.com/watch?v=FdnJhmE-goo>

#2 <https://www.youtube.com/watch?v=pww9Z7OfAyQ&t=1s>

#3 https://www.youtube.com/watch?v=fQ6kpD_vvhE

#4 <https://www.youtube.com/watch?v=yaCzCNYokUs>

youtube #1

youtube #2

youtube #3

youtube #4



②谷保玲奈さんの応援

—若手アーティストの作品買い上げ、価値創造の為の活動—



第8回 東山魁夷記念 日経日本画大賞(主催 日本経済新聞社)を受賞された谷保玲奈さんに作品製作などで活用いただきたく、100万円の寄付を6月1日にお渡ししました。

③Asian Culture Award2021 受賞者の発表

—普段スポットが当たる事が少ない、文化の下支えをしてくださっている方々への感謝を表す為のアワード運営



詳細はこちら



2020年に当財団が設立し、2回目の開催となるACA2021は、東方（アジア圏）を中心に、地域や国境を越えて活躍し、文化・芸術・社会分野を下支えしているにも関わらず、その栄えある実績に対して十分にスポットライトが当たっていない人物を対象としたアワードです。審査は、芸術・文化行政・地域文化など、多様な分野の第一線で活躍する識者が担い、本年度においてもボーダレスな活躍が期待される方々3名の受賞が決定いたしました。前年度同様コロナ渦中であることを鑑み、各受賞者のもとを訪問し、感謝状および賞金100万円の授与をさせていただきました。

●審査員（敬称略/五十音順）

- ・青柳 正規（多摩美術大学 理事長／第21代文化庁長官）
- ・秋元 雄史（練馬区立美術館 館長）
- ・安倍 昭恵（元内閣総理大臣夫人／社会貢献支援財団 会長）
- ・大西 洋（羽田未来総合研究所 代表取締役社長／日本空港ビルデング 取締役副社長）
- ・來住 尚彦（一般社団法人アート東京 代表理事）
- ・隈 研吾（建築家・東京大学特別教授、名誉教授）
- ・榊田 隆之（京都信用金庫 理事長）
- ・Tony Liu（M&C SAATCHI aeiou CHAIRMAN, CHIEF CREATIVE OFFICER）
- ・中野 善壽（東方文化支援財団 代表理事）
- ・二之湯 武史（桜美林大学客員教授／元参議院議員）
- ・王 玉園（春夏有限公司）

【Asian Culture Award（ACA）2021 受賞者について】

●受賞者（敬称略/五十音順）：

- ・小篠 敏之（オザキ トシユキ）（株式会社 鳥羽屋（トバヤ） 代表者）

1655年創業の鳥羽屋は、国内で和楽器の弦を製造販売している6社の中で一番歴史があり、小篠氏は10代目。生糸と呼ばれるセシリンを多く含んだ蚕の生繭から作られた糸を原料として、染色・糊付・伸張・裁断を施し、強く縊りのある糸を作り上げている。雅楽用の絃を製造しているのは、鳥羽屋が国内唯一で2015年、国・無形文化財選定保技術の保持者に選ばれている。

- ・小林康生（コバヤシ ヤスオ）（越後門出和紙（エチゴカドイデワシ） 職人）

越後門出和紙は、門出地区で伝統的に漉き続けられてきた和紙。伊沢紙は、厚紙で傘紙、凧紙など主に加工用紙、ふわた紙は、寸法がやや小さく風の強い海岸よりの障子紙として活用していた。小林氏は、五代目であるが、現在では1戸のみとなっている。

・谷川 清三（タニガワ セイゾウ）（きせる専門店 谷川清次郎商店 代表）

享保年間に創業した谷川清次郎商店の9代目で、蓑（たばこ）文化、喜世留（キセル）文化の伝承者。刻み蓑は、江戸時代に刃物技術が発達したことにより、髪の毛ほどに細かく刻まれた蓑が一般的になり、それに合わせて火皿もコンパクトになり、吠（かます）に入れて持ち歩く携帯用のキセルも普及した日本発祥の文化。刻み蓑、喜世留、吠、蓑盆などの一式を世話できるのは国内唯一、谷川清次郎商店だけである。

感謝状授与の報告 https://www.m-ecf.com/news/20211109_1/

④静岡県熱海市の災害支援への寄付

—地域再生を意識した活動—



令和3年7月に発生した大雨により、静岡県熱海市で甚大な被害が発生しました。2022年6月現在も復旧・復興が続いております。この度の被害を受けて、皆様方からのご支援を7月6日～20日まで代理で受け、集まった合計33万円を全額、8月2日に静岡県熱海市へ届けさせていただきました。

⑤WHITE CANVAS

—若手アーティストの作品買い上げ、価値創造の為の活動—



「WHITE CANVAS」は2020年にタイ、カンボジア、スリランカの3カ国から始まり、2021年は3カ国に加え、モルジブ、ブータン、ラオスが加わり6カ国となりました。当財団は、6カ国の運営資金をサポートしました。また、今年から日本も開催しました。2021年はタイ10作品、カンボジア8作品、スリランカから6作品、ブータンから3作品、日本は9作品を、別途買い上げサポートをしました。

また、2020年に入賞し当財団が買い上げた作品のうち、カンボジアのアーティスト

Chheav Hea 氏の作品が TRiCERA 主催のオークションイベント「START」にて約61,000円で売買取成し、8月に2次売買取成されたことによる初の還元金が Hea 氏に直接支払われ、新たなアーティスト支援の形が実を結び始めました。

カンボジア Chheav Hea 氏からの動画メッセージ

https://www.youtube.com/watch?v=_bdj3zLsnUQ

詳細はこちら



⑥首長会の開催

—地域再生を意識した活動—



首長会は、全国 1741 市町村の首長の中から、当財団の考えや目指す方向に共感した首長をメインに構成されております。第 1 回目は 11 月 14 日（日曜）、15 日（月曜）に約 40 の首長、議員、民間企業の経営者等々が集まり熱海にある HOTEL ACAA とオンラインのハイブリットで首長会「熱海井戸端会議」を行いました。

次回 2022 年秋ごろに第 2 回「井戸端会議」を行いたいと考えており、そこでは各参加者がそれぞれ感じた課題や成果を発表し交流の場となることを予定しております。

⑦熱海の魅力をアートで再発見 「PROJECT ATAMI」、「ATAMI ART GRANT」に協力

—地域再生を意識した活動—

—若手アーティストの作品買い上げ、価値創造の為の活動—



詳細はこちら



当財団と ACAA SPA & RESORT で進める熱海の魅力をアートで再発見する取り組み「PROJECT ATAMI」と、「PROJECT ATAMI」実行委員会が公募で選んだアーティストが滞在し制作した作品の発表展示の祭典である「ATAMI ART GRANT」を熱海市内の宿泊施設や屋外施設など 22 カ所と旧ニューアカオ館内に 2021 年 11 月 16 日～12 月 20 日まで行われました。

PROJECT ATAMI <https://projectatami.com/>

⑧静岡県東部（熱海 HOTEL ACAA を中心）に保税倉庫をつくるサポートを行いました。

—アートの保存保管機能充実の為の活動—

現在約 80%の進行状況です。

⑨武藤千春さん サウンドプロジェクトへの支援

—若手アーティストの作品買い上げ、価値創造の為の活動—

詳細はこちら



ダンス&ボーカルグループ・E-girls 元メンバー、現在は、アパレルブランド「BLIXZY(ブライジー)」プロデューサー/デザイナーと長野県小諸市の農ライフアンバサダーでもある武藤千春さんのサウンドプロジェクトに応援をいたしました。このプロジェクトは、武藤千春さんが作詞・作曲したオリジナル曲でアナログレコードを制作したい！という想いから立ち上がったプロジェクトです。プロジェクトページ <https://bridg-e.jp/projects/muto-chiharu>

⑩ 広報活動の一環として、PR TIMES 企画「April Dream 4月1日は、夢の日。」に参加しました。

「April Dream」は、4月1日に単に笑えるネタではなく実際に企業が叶えたい夢を発信する、PR TIMES によるプロジェクトです。



詳細はこちら



東方文化支援財団、人口 20 億人超の共和国、「United State of Eastern Culture」を発足
アートや芸術は、人々の生活を豊かに、物作りに付加価値をもたらす強く新しい経済の源です。当財団は、「東方文化」とは「神々」という言葉を恒常的に使い、「信仰する神はただ一人」であると認識されるのではなく、釈迦が感じた本質的なものを理解する文化、文化地域だと考えております。人類はあらゆる災厄のなか、喪失と再生を繰り返してきました。2021 年より始まる新しい時代は、心、物、すべてにデザイン、芸術、アートが入り込み、物理的・機能的豊かさのみではない「魂の豊かさ」の時代に入ると感じております。我欲から自身を解放すること、心の自由を手に入れることを説いた当財団代表理事 中野の著書「ぜんぶ、すてれば」は、発売以来、99 回目の増刷となり、世界 36 カ国で刊行され、読者の共感・支持をいただいております。

このたび、このビジョンに共感した東方文化地域に位置する 16 カ国の代表者が集い、文化における国際的連携の強化を目的とした共和国「United State of Eastern Culture（略称 U.S.E.C）」の発足および調印式を執り行う運びとなりました。U.S.E.C は、2050 年には、人口 20 億人超、世界の GDP の 30%以上のシェアを超える地域となり、アメリカ・中国・ヨーロッパと共に世界に大きな影響を与えることが見込まれます。当財団は、本日より U.S.E.C.の拠点都市 Nakachan（ナカチャン）にうつり、新型ウイルスや格差等で深く傷ついた人々の理想郷として、互いの多様性を尊重し文化創造を目指した活動を行い、穏やかで心安らぐ世界を育て参ります。

詳細はこちら <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000007.000049826.html>

以上